

事業番号	11 11 01	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業	部局	建設部	課・室	リニア整備推進局	

## 1 現状と課題

- ・リニア中央新幹線はJR東海が国の事業認可を受け、東京・名古屋間の整備を進めている。開業時期については2024年（令和6年）3月に、2027年の開業は実現できないことを公表しており、現時点での新たな開業時期は未定。
  - ・長野県内におけるリニア中央新幹線の本線工事総距離（52.9km）のうち、97.5%にあたる51.6kmが工事契約済み、（令和7年11月末時点）
  - ・県内のトンネル工事による建設発生土量は約974万m<sup>3</sup>と見込まれており、令和7年1月時点で候補地として33箇所が決定済み。（県内発生土量の約6割に相当）
  - ・リニア中央新幹線の整備効果を伊那谷地域の地域振興につなげ、伊那谷全体の発展に資するため、「リニア中央新幹線を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」を平成25年8月に設置。（これまでに19回開催）
  - ・伊那谷自治体会議において、「リニアバレー構想」（平成28年2月）、「リニアバレー構想実現プラン基本方針」（令和2年3月）を策定し、地元市町村や民間団体とともに、構想実現に向けた取組（景観形成、広域観光、広域二次交通、キャリア教育、企業誘致等）を進めることとしている。一方で、リニア開業時を見据えた人流データの不足により開業による誘発効果が見込めず、各主体における具体的な取組が進まないケースがある。
  - ・この他、リニア中央新幹線中間駅の地域活性化方策に関する「リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する関係府省等会議」において令和6年9月に策定された「中間取りまとめ」を踏まえ、長野県は多極分散型国家の実証モデル都市圏域の先行形成等を目指すこととしている。
  - ・リニア建設工事には、地元の理解・協力が不可欠であるため、県としては、引き続き発生土の活用や環境対策等の課題解決に向け、地元に寄り添った対応をJR東海に要請していく必要がある。

## 2 事業目的

- ・リニア中央新幹線の建設を推進する。（リニア中央新幹線の開業に向けて必要な県内工区のインフラ建設を推進する。）
  - ・リニア中央新幹線の整備効果を広く県内に波及させるために必要な取組を講じ、もって広く地域振興の実現を図る。

### 3 事業目的を達成するための取組

## ①リニア中央新幹線を活用した地域振興の検討

- ・「リニアバレー構想」の実現に向けた官民連携による取組の推進
  - ・「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」（座長：知事）の運営及び「リニアバレー構想実現プラン基本方針」に基づく取組の推進
  - ・リニアを活用した「観光」「生活・交流」「産業・しごと」「交通ネットワーク」の各分野の施策の具体化の検討
  - ・中間駅4県（神奈川県、山梨県、岐阜県）との広域連携の具体化について共同研究
  - ・自治体職員や経済団体等の構成員を対象とした勉強会の開催



## リニア開業に伴う新たな圏域形成に関する 関係府省等会議「中間取りまとめ」より抜粋



リニア中央新幹線建設促進  
長野県協議会総会(R7.8.6)

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし =: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	見込	推移				
①	勉強会・アドバイザー派遣・出前講座等の参加者数	人	351	↗	356	↗	530 (R7.12月 時点)		420	△	地元地域におけるリニア中央新幹線整備への理解を促進するための勉強会等の開催など、着実に参加者数を延ばしてきた。令和8年度は近年の実績を勘案し、直近の3年間の平均を上回る420人を目標とする。

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	14,650		14,650	14,491		11.1
	要求	50,650		50,650	32,491		
R7年度		0	17,947	0	17,947	17,782	12.4
R6年度		0	25,211	0	25,211	25,036	22,264
要求からの 主な変更点		リニア駅広域活用事業について、内容を一部見直し、委託経費を減額					

事業番号	11 11 01	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	リニア中央新幹線の建設促進と地域振興事業	部局 建設部	課・室 リニア整備推進局

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	<b>中央新幹線活用地域振興事業費</b>	20,175 千円	11,570 千円	予算案 7,937 要求 43,937 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	リニア活用基本構想及びリニアバレー構想の実現に向けた取組の推進	直接	・「リニアバレー構想」の実現に向け、伊那谷自治体会議や同幹事会、庁内関係部局会議による取組推進、自治体関係者・関係団体との勉強会を開催 ・地域の主体的な取組推進のため、機運醸成や進捗状況報告等のための勉強会やアドバイザー派遣等を実施 ・沿線県（神奈川県・山梨県・岐阜県）の広域連携の具体化について共同研究 ・リニアを活用した「観光」「生活・交流」「産業・しごと」「交通ネットワーク」の各分野の施策の具体化に向けた関係者との対話  会議の開催：伊那谷自治体会議（1回）、勉強会等（360人参加）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	<b>中央新幹線建設促進事業費</b>	5,036 千円	6,377 千円	予算案 6,713 要求 6,713 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	リニア中央新幹線の建設促進	負担金	・リニア中央新幹線建設促進長野県協議会へ負担金を支出し、沿線都府県や県内各団体と連携を図り、整備推進と安全・環境対策についての要望活動を実施  県協議会総会及び国等への要請活動の実施（例年7月頃）	
2	リニア中央新幹線の建設に関する調整	直接	・建設工事に伴う発生土の活用や環境対策等について、関係市町村やJR東海等との調整を実施  関係市町村長とJR東海幹部との意見交換及び知事とJR東海社長とのトップ会談等を実施（各1回）	